

# 1章 あれも協働！？これも協働！？

長岡京市では、協働には7つの形態があると考えています。下の表には、長岡京市で現在実施している協働事例を、それぞれの形態ごとにリストアップしています。色の付いた6事例は、7ページから詳細を紹介します。

事業委託…専門性、先駆性、柔軟性など協働の担い手の特性や能力を活かすことで、事業の有効性、効率性が向上すると認められる事業について、その全部又は一部を委ねること

事業名	担当課
みどりのサポーター制度（7ページ）	公園緑地課
子育て支援活動応援	こども福祉課
市民手話講座の開催	障がい福祉課
放課後子ども教室「すくすく事業」の実施	文化・スポーツ振興室

事業協力…目標や役割分担を決め、一定期間、継続的な関係のもとで協力して事業を行うこと

事業名	担当課
学校支援ボランティア（9ページ）	生涯学習課
環境の都づくり会議事務局運営	環境政策監
はっぴいバスの運行	交通対策課
ふるさとガイドの会運営支援	生涯学習課
子育てふれあいルーム	中央公民館

実行委員会・協議会…複数の市民や行政が共に主催者として実行委員会や協議会を設置し、事業企画や運営・実施にあたるもの

事業名	担当課
配食活動協働プラットフォーム（11ページ）	市民協働・男女共同参画政策監
長岡京ガラシヤ祭の開催（13ページ）	総務部総務課
西山森林整備推進協議会（15ページ）	環境政策監
環境フェアの開催	環境政策監
ふれあい朝市	農林振興課
長岡京音楽祭実行委員会事業	文化・スポーツ振興室

共催…協働の担い手と行政が、共に主催者となって事業を行うこと

事業名	担当課
児童虐待予防3年の歩みキャンペーン（17ページ）	こども福祉課
人権の集い	人権推進課

補助・助成…協働の担い手が主体となって行う事業に、行政が政策目的達成の観点から、資金的援助の支援を行うこと

事業名	担当課
地域集会所建設等	総務部総務課
民間社会福祉活動助成	社会福祉課
地区敬老行事の実施支援	高齢介護課
雨水貯留施設の整備	上下水道部総務課

政策立案…事業検討に当たって、協働の担い手から意見や提言を受ける形態のこと

事業名	担当課
パブリックコメント手続き制度	市民協働・男女共同参画政策監
各種審議会等の市民公募委員	市民協働・男女共同参画政策監

後援…協働の担い手が主体となって行う事業に、行政が名義後援など、資金以外の支援を行うこと

事業名	担当課
市の後援名義の使用	秘書課
市教育委員会の後援名義の使用	教育総務課

#### 【コラム】広い意味での協働と、狭い意味での協働

『公共＝行政』という式。ちょっと違うな、と思ってもらえていますか？  
確かに、『公共＝行政』という領域は、行政が執行者としての責任を持って行うもの（生活保護、課税など）として、ちゃんとあります。

逆に、『公共＝市民』という領域もあります。市民が主体的に自立して活動するもの（隣近所の助け合い、見守り活動など）がそうです。

公共って、それだけじゃないですよ。その間の公共には、市民と行政はどのように関わっているの？

そこが、広い意味での協働です。

「市民協働のまちづくり指針」では、3つのパターンがあります。

- ①行政主導（行政が主導し、市民に委嘱する市民参加方式による領域）
- ②双方同等（市民と行政が協働で立案・実行する領域）
- ③市民主導（市民が主導し、行政が協力・支援を行う領域）

この中で、②が狭い意味での協働、ということになります。

協働って、幅が広い言葉ですね。



## 事業名：みどりのサポーター制度

## 事業委託

協働のパートナー	市民、事業所		
実施の期間	平成16年度から	担当課等	公園緑地課

### 【事業の内容】

- 市民で組織するグループにより、市が管理する公園や緑地・道路・河川などの公共用地で緑化や環境美化の活動に取り組む
- 当初は、市が立ち上げた事業であるが、今は「財団法人長岡京市緑の協会」を、事業の窓口としている
- 事務局は、グループの登録、花の苗木等の提供、清掃用具の貸出、ボランティア傷害保険の加入などの支援を行う

### 【きっかけ】

平成16年度に「市民が誇れる風格とゆとりのあるみどり」を基本理念として「緑の基本計画」が策定された。計画を策定した委員会のなかで、「公民協働の緑の輪づくりが必要ではないか」という提案があり、市民の手で植物を育てるために必要な仕組みづくりとして、「みどりのサポーター制度」が始まった。

事業主体	市民・事業所（みどりのサポーター）	(財)長岡京市緑の協会
役割分担	・地域の人または事業所のなかで連携して、地域の公園や道路等の緑化、清掃活動を行う	・みどりのサポーターの登録 ・花の苗木等の提供、清掃用具の貸出や、傷害保険の加入などの支援



▲地域で力を合わせて作る花いっぱい公園

## 【成果】

- 緑化意識、美化意識の醸成を通して地域コミュニティが活性化する
- 緑の協会がグループ間のとりまとめをすることで、みどりのサポーターが活動しやすい環境をつくる
- グループ名を決め、活動場所にみどりのサポーターの看板を立てることなどを通して、みどりのサポーター自身の地域への愛着がわく。また、活動をPRでき、地域美化の促進につながる
- サポーターの登録団体数は増加している

## 【課題】

- みどりのサポーター以外の、清掃活動が続けている潜在的なサポーターを発掘し、支援することを通して、みどりのサポーター制度をさらに発展させていくこと。また、引退後のシルバー層の活動の場づくりとしてみどりのサポーター制度をPRしていくこと

### 担当者が語る 成功のポイント

気楽に始められ、気楽にやめられることが特長の事業です。身構えることなくできる活動であることをPRし、活動の主体を増やしていくことが大切だと考えています。

## 事業名：学校支援ボランティア

## 事業協力

協働のパートナー	市民		
実施の期間	平成20年度から	担当課等	生涯学習課

### 【事業の内容】

- 学校から発信されたニーズ・要望をもとに、各学校に地域ボランティアを派遣し、活動を手伝う
- 学校が手伝ってほしい内容は、学習や部活動の指導、登下校のあいさつ、校内の花壇の整理など
- 各学校に「地域コーディネーター」を配置し、学校とボランティアの調整をする
- 行政や各組織の代表者で構成される「長岡京市学校支援地域本部事業実行委員会」が大元にある。そして各校区の組織として「長岡中学校区学校支援地域本部」と「長岡京市立中学校支援地域本部」がある。そして各々の中に、「地域教育協議会」があり、校長、教職員、PTA・自治会関係者などで構成される

### 【きっかけ】

学校現場の多忙化の中で、教師が生徒・児童とゆっくり向き合う時間がもてなくなっていること。

事業主体	地域教育協議会	長岡京市学校支援地域本部事業実行委員会
役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習活動支援（五教科・チャレンジ学習・振り返りスタディ）、クラブ・部活動支援（野球・テニスなど）、校内環境整備支援（花壇整備・水やり・除草など）、登下校支援（朝のあいさつ運動・見守り隊）</li> <li>・ 学校の要望と地域で活動する人たちを調整し、繋ぐ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修会を開催して、地域コーディネーターを育成する</li> <li>・ 事業の広報および検証</li> </ul>



▲地域の方で子どもたちの学力向上を図ります

## 【成果】

- 生徒の学力向上につながる
- 先生の仕事にゆとりが生まれ、生徒・児童とよりしっかりと向き合うことが可能になる
- 生徒にとって、地域に見守られているという安心感につながっている
- 学校に地域の人が参加することで、学校だけでなく、地域が元気になっていく

### 担当者が語る 成功のポイント

先生にとって、地域の人に学校のことを理解してもらうことが結果として負担となってしまうことがあります。地域との連携が軌道に乗るまでは、一時的に負担がかかってしまうかもしれませんが、結果的には先生の負担軽減につながるので、長期的な視点をもって地域との連携をとっていくことが大切ですね。

### 【コラム】協働にふさわしい事業とは？

事業の目的や内容によって、協働という方法が力を発揮するものがあります。「市民協働のまちづくり指針」では、7つのパターンがあります。

- ①市民の新しい発想を期待したり、地域を元気にしたりするための事業
- ②地域にある問題を、市民に自分の問題として取り組んでほしい事業
- ③少ない対象者や地域事情に沿って、柔軟できめ細かく対応したい事業
- ④NPO や市民（団体）の持つ専門性を活かしたい事業
- ⑤新しい市民ニーズへいち早く対応したい事業
- ⑥NPO や市民（団体）の持つ機動性を活かしたい事業
- ⑦地域の実情に合った、市民目線を活かしたい事業

協働にふさわしい事業、近くにありませんか？



事業名：配食活動協働プラットフォーム

実行委員会・協議会

協働のパートナー	市民		
実施の期間	平成 22 年度から	担当課等	市民協働・男女共同参画政策監

【事業の内容】

- 自宅での調理が困難で、地域全体で見守りなどを必要とする方（主に高齢者）に、食の保障と安否確認を兼ねて、食事を配達する配食活動。その共通の課題の解決に向けて多様な主体で配食活動協働プラットフォームを組織し、事業を展開している
- まずは、配食活動の担い手を増やし活動を広めていくことを目的に、協働で講座を開催し、新たな団体の立ち上げ支援を行っている

【きっかけ】

- 長岡京市内で、自宅で暮らす高齢者の中には、調理や買い物が難しい人がいる
- 市内の高齢者比率が高まってくる中、在宅での食事支援や地域での見守りの必要性が高まっている
- 市の事業である平成21年度のテーマ型協働プラットフォームのテーマとして、「配食サービス協働プラットフォーム」をモデル的に実施したことから生まれた

事業主体	市民活動団体、民間事業者	行政
役割分担	配食活動を行う市民の発掘・育成のための講座の企画と実施。知恵と知識の伝承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報でPR。社会的認知（市）</li> <li>・ 配食サービス全体の窓口を担う（市）</li> <li>・ 保健衛生の指導（乙訓保健所）</li> </ul>



▲おいしくて栄養満点の料理を学びます

### 【成果】

- 行政による配食サービスだけでなく、市民団体が、行政の対象となっていない人もカバーしており、市民団体の強みが活かされている
- ボランティア自身のやりがいにつながる
- 「食」を通じた支え合いのまちづくりの気風が生まれる

### 【課題】

- 市民に配食サービスの情報が十分に伝わっていない
- さらなるニーズの高まりの中、配食サービスの担い手が不足しており、人員が足りていない

#### 担当者が語る 成功のポイント

団体だけではなく、個人レベルで参加できるものなので、幅広くPRし、市民ひとりひとりに知ってもらい、配食活動の裾野を広げていくことが必要です。

いざこざやトラブルが発生すると、目の前の課題にとらわれがちになってしまいます。活動を継続していくためには、当初の目標を見失わないことが必要であると考えています。

## 事業名：長岡京ガラシャ祭の開催

## 実行委員会・協議会

協働のパートナー	市民、事業所		
実施の期間	平成4年度から	担当課等	総務課

### 【事業の内容】

- 各種団体に構成されるガラシャ祭実行委員会が実施する総合的な市民祭りへの補助事業
- ガラシャ祭の内容は、行列巡行、楽市楽座など。平成20年度からは、ガラシャウィークとして本祭の約一週間前からコンサートなど様々なイベントを実施している

### 【きっかけ】

長岡京市は、市内全域が長岡京跡に覆われ、神社仏閣や古墳などの歴史遺産が数多く存在する地域である。平成4年に、その歴史遺産の一つである、勝龍寺城跡を市民の憩いの場として整備し、勝竜寺城公園が完成した。その完成と市制施行20周年を記念して、長岡京の歴史を活かした市民祭りを、地域振興を目的に実施した。真の市民祭りとするために、将来的には民間主導への移行を目標としている。

事業主体	市民・市民活動団体・事業所	行政
役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行列巡行や各種イベントに参加することで、市民が主体の祭りを実施する</li> <li>・各種団体や事業所、活動をする個人にとって活動の場になる。また、長岡京市の最も大きな祭りであるガラシャ祭に参加することは、自分たちの活動の宣伝・周知につながる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の各種団体に構成されるガラシャ祭（市民まつり）実行委員会への補助事業</li> <li>・事務局として、会場確保や祭りの広報啓発を担当し、総合調整をする</li> </ul>



▲祭りの主役「お玉さん」



▲子どもたちも、鳴子おどりで行列に参加します

### 【成果】

- 全市的な祭りの開催で、市民相互の連携・ふれあいの促進と地域コミュニティの活性化につながる
- 市民がイベントを開催できるガラシャウィークの試みで、市民が主体的に行う催しが増えた

### 【課題】

- 民間主導への移行の方策を検討し、事務局機能を担う団体を鋭意模索する
- 活動資金の中で、市の補助金の比率が多く、まだひとり立ちが難しいのが現状である

#### 担当者が語る 成功のポイント

ガラシャ祭は市民まつりであるので、ガラシャ祭の成功と言えば、観光入り込み客数の多さなどではなくて、市民が主体的に活動できたか、ということが一つに挙げられるように思います。

そういう点で成功するためのポイントとして考えられるのは、行政は参加団体に対し、会場提供や、全市的な広報をするにとどまり、その他の企画、段取りを信頼してまかせることだと思います。

そうすることで、自分達の祭りを自分達の手で、という意識の元、市民まつりが一層定着するのではないのでしょうか。

## 事業名：西山森林整備推進協議会

## 実行委員会・協議会

協働のパートナー	市民、事業者、森林所有者、学識経験者、ボランティア		
実施の期間	平成17年度から	担当課等	農林振興課

### 【事業の内容】

地域の環境資源である西山の緑の保全をはじめ、水源のかん養、災害の防止、生物多様性の確保、望ましい景観やレクリエーション空間の形成、地球温暖化の防止等、森林の持つ多様な機能を高度に発揮させ、美しく良好な環境の創造に資することを目的とし、協議会で策定した西山森林整備構想を基に①森林整備、②林道等の基盤整備、③環境教育（次世代教育）の場としての整備を進める

### 【きっかけ】

近年、西山は社会情勢や生活様式の変化により、放置された状態となっており、生態系への悪影響と竹林が侵食することなどによる水源能力の低下への対応が喫緊の課題となっている。そこで、平成17年6月、森林所有者、地域住民、環境団体、市民ボランティア、企業、学識経験者、行政等の地域の多様な主体が連携し、西山森林整備推進協議会を設立した

事業主体	市民、事業者、森林所有者、学識経験者、ボランティア	行政
役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備事業実施</li> <li>・整備技術の指導</li> <li>・環境への配慮など専門性を生かした助言</li> <li>・個人参加ボランティアへの指導</li> <li>・整備効果の検証</li> <li>・環境保全保護の指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林所有者との調整</li> <li>・森林組合への事業発注</li> <li>・ボランティアの募集</li> <li>・森林整備の啓発活動</li> <li>・企業や団体からの支援の窓口</li> </ul>



▲森林整備をして明るい森へ



▲里山遊びで西山の自然に触れる

## 【成果】

- 協議会の設立により、多様な主体の情報共有や、連携した取組ができるようになった
- 森林整備により山が明るくなったことで、たくさんの人が山に入るようになり、森林所有者の意識向上にもつながっている
- 平成22年3月末現在で、約935トンのCO2を削減することができた

## 【課題】

- 伐採した木材の利用や、病害虫の予防対策などを含めた総合的な里山林の整備
- 拡大竹林の整備とその利活用
- 一人でも多くの人に山を身近に感じてもらうための啓発事業の展開

### 担当者が語る 成功のポイント

協議会を立ち上げる以前から、企業や多くの市民環境ボランティア団体が西山環境保全活動をしてきています。そういった土台をもとに活動を続けることが重要であると考えています。

### 【コラム】「協働」と「共同」はどう違うの？

例えば、結婚式を思い浮かべてみましょう。「初めての共同作業です」という司会者の言葉で、新郎と新婦がナイフに手を添え、ケーキカットをする。

このように、複数の人が同じ条件で、同じ目的のために一緒に行うというのが「共同」です。「男女共同参画社会」という言葉で使われているのも、この「共同」です。男性と女性が、性の違いに関係なく同じ条件で、一緒に社会を作っていこうとしています。

次に、結婚式の会場を見渡してみましょう。新郎・新婦、司会者、参加者、ホールスタッフ、衣装スタッフなど、結婚式を成功させるために、複数の人がそれぞれの役割を発揮しながら協力しています。これが「協働」です。

「市民参画協働」という言葉は、市民と行政が、それぞれの役割や個性を発揮しながら、どちらが上、どちらが下ということなく対等な立場で、協力していくことを言っています。



# 事業名：児童虐待予防3年の歩みキャンペーン

## 共催

協働のパートナー	市民		
実施の期間	平成21年度から	担当課等	こども福祉課

### 【事業の内容】

「NPO法人ほっとスペースゆう」をはじめ、行政である長岡京市と京都府、また長岡京市民生児童委員協議会などの公的機関、NPO法人おとくにパオなどの民間団体が連携して、実行委員会を組織し、講演会やシンポジウムなどの事業を行った

### 【きっかけ】

平成18年10月22日、市内で3歳の子どもが虐待により死亡する事件が起きた。「子どもをすこやかに育むまち」宣言をしてから3年が経過した今、今後の課題を話し合う大切な時期が来ているとの思いから、NPO法人ほっとスペースゆうが主催となり、市民と行政が協働する事業として行われた

事業主体	民間団体	行政
役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の提案と実行委員会の組織。行政や公的機関、民間団体などとの協力関係の構築（ほっとスペースゆう）。</li> <li>・事業の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所的経済的支援</li> <li>・方向性の支援</li> <li>・事業の運営</li> </ul>



▲平成21年11月に開催された「児童虐待予防3年の歩みキャンペーン事業」の様子

## 【成果】

- NPO法人ほっとスペースゆうをはじめとして、長岡京市や京都府の関係機関、その他民間機関と協力して事業を行うことで、協力関係が生まれた
- 築かれた協力関係のなかで、力を合わせて、地域で子育てをすることの裾野を広げること、地域のなかでPRしていくことで、草の根レベルで虐待を許さない地域づくりへの貢献ができてきている
- 今回の事業で活動の裾野が広がった結果、長岡京市子育て支援ネットワークという新しいネットワークができあがり、長岡京市要保護児童対策地域協議会との共催で、平成22年11月22日（月）に、今回の事業の第二弾である「虐待の予防・早期発見・ケアまでを考える研修会」を開催

### 担当者が語る 成功のポイント

みんなが「見守る」という地域づくりのためには、子育てを支援する民間団体や、民生委員など、地域の中で活躍する方たちを通して、裾野を広げていくことが重要です。

民間団体や民生委員が主体的に地域で活動をすすめる、行政はそれを場所的・経済的支援や方向性の支援などを通して、後押しするという関係づくりが求められています。